

自 2018年4月 1日
至 2019年3月 31日

2018年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

2018年度事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

概況

2018年度は学会全般にわたり更なる国際化を推進した年度となった。その大きな2つの柱としては秋の学会設立35周年記念国際コミュニケーション・フォーラムと英文ブックシリーズ発行に向けての準備である。

まず国際コミュニケーション・フォーラムについては、春は「データが拓くAI・IoT時代」をテーマとし、データの取引・流通に関する課題について各界の専門家が一同に会して議論し、今後に向けて取り組むべき問題について検討を行った。秋は学会設立35周年記念ということもあり、「新時代の情報通信政策「行動インサイト」×「AI」×「IoT」」をテーマとし、国外からは経済協力開発機構(OECD)のポリシーアドバイザー、国内からは一線で活躍されている研究者、企業関係者、政策立案者を招き、情報通信の分野における行動インサイトの導入、IoT・AI・ロボットなどのイノベーションの成果の活用等に焦点をあて、今後の情報通信政策の在り方について議論した。

また、英文ブックシリーズ発行についての準備も最終段階をむかえ、2019年度には2冊発行できる見通しとなった。

情報通信学会大会においては、数多くの情報通信に関する個人研究発表や研究会報告等が行われ、また大学院セッションの優秀な個人研究発表については、発表賞を贈った。

この他、関西大会、研究会、ワークショップの開催、学会誌の発行等を行った。

財政面に関しては、秋の学会設立記念フォーラムにおける国外からの招へい講師が変更となったことや、英文ブックシリーズ発行に係る経費がかさんだことなどから、予算とは異なる箇所もみられる。次年度以降については、より具体的な計画・方針を決めた上で予算を組んでいくことが必要と考えられる。

I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

1. 2018年度春季（第38回）及び2018年度秋季（第39回）情報通信学会大会

2018年度春季（第38回）情報通信学会大会を6月30日（土）、7月1日（日）の2日間、慶應義塾大学三田キャンパスにて開催した。

個人研究発表として大学院生セッション（アーリーバード）7発表、一般セッション24発表及びポスターセッション2発表、6研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告として「総務省の情報通信関係統計の結果概要（平成29年情報通信業基本調査と通信利用動向調査）」が行われた。また、個人研究発表大学院セッションにおいて優秀な発表1発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。本大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は176名。

また、2018年度秋季（第39回）情報通信学会大会を11月17日（土）、東京大学駒場Ⅱキャンパスにて開催した。個人研究発表として大学院生セッション（アーリーバード）4発表及び一般セッション16発表、3研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告として「『平成30年度版情報通信白書』を読み解く」が行われた。本大会においては、個人研究発表大学院セッションにおいて優秀な発表に対して贈られるアーリーバード発表賞は該当者なしとなった。参加者は114名。

*プログラム等詳細は別紙1

2. 2018年度春季（第38回）国際コミュニケーション・フォーラム及び2018年度秋季（第39回）国際コミュニケーション・フォーラム（設立35周年記念国際コミュニケーション・フォーラム）

2018年度春季（第38回）国際コミュニケーション・フォーラムは、6月30日（土）、公益財団法人KDDI財団と共催し、慶應義塾大学三田キャンパスにて開催した。テーマは「データが拓くAI・IoT時代」とし、基調講演に情報セキュリティ大学院大学教授の林紘一郎氏、慶應義塾大学総合政策学部教授の國領二郎氏を招き、講演いただいた。パネル・ディスカッションは総務省の今川拓郎氏、株式会社日立製作所の梶浦敏範氏、静岡大学の高口鉄平氏、東京大学の柴崎亮介氏、英知法律事務所の森亮二氏にパネリストとして登壇いただき、モデレータは株式会社KDDI総合研究所の村上陽亮氏が務め、「データの取引・流通に関する現状と課題」及び「データの取引・流通の促進のための政策」について議論を行った。本フォーラムは「情報通信月間」の参加行事である。参加人数は82名。

2018年度秋季（第39回）国際コミュニケーション・フォーラムは、当学会設立35周年記念事業として、11月16日（金）、公益財団法人KDDI財団と共催し、東京大学伊藤謝恩ホールで開催した。テーマを「新時代の情報通信政策「行動インサイト」×「AI」×「IoT」」とし、特別講演として総務省総務審議官の鈴木茂樹氏に、基調講演として経済協力開発機構(OECD)科学技術イノベーション局ポリシーアドバイザーのDries Cuijpers氏に講演いただいた。

パネル・ディスカッションは2部構成で、パネル・ディスカッション1ではテーマを「行動インサイトと情報通信政策の未来」とし、基調講演のCuijpers氏に加えて、環境省の池本忠弘氏、株式会社エヌ・クロサカタツヤ氏、筑波大学の西尾チヅル氏にパネリストとして登壇いただき、モデレータは慶應義塾大学の齋藤長行氏が務めた。パネル・ディスカッション2ではテーマを「AI/IoT新時代の情報通信政策の未来」とし、慶應義塾大学の秋山美紀氏、東京大学の宍戸常寿氏、慶應義塾大学の新保史生氏、名古屋大学の林秀弥氏にパネリストとして登壇いただき、モデレータを慶應義塾大学の大石裕氏が務めた。参加者は112名。

*プログラム等詳細は別紙2

3. 2018年度関西大会

10月20日（土）に、NTT西日本研修センタにおいて2018年度関西大会を開催した。「映像情報システムの新局面—AI解析と映像のビッグデータ、公共空間の関係をめぐって」をテーマに、まず株式会社Specteeの村上建治郎氏、株式会社エム・データの薄井司氏、株式会社ゼネラルリソースの遠藤隆介氏のショートプレゼンテーションがあり、引き続き登壇者によるパネル・ディスカッションが行われた。司会は京都産業大学の脇浜紀子氏が務めた。西日本電信電話株式会社協力。参加人数は55名。

*プログラム等詳細は別紙3

4. 共同開催シンポジウム

2月9日（土）、早稲田大学早稲田キャンパス19号館7階711教室において、震災関連シンポジウム「西日本豪雨・北海道地震等とICT」を当学会と早稲田大学アジア太平洋センターの主催、地区防災計画学会との共催で開催した。

*プログラム等詳細は別紙4

II 研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

1. 研究会の開催

以下の13の研究会が活動を行い、年間計28回の研究会が開催された。なお、アジアのメディア研究会及び地域メディアプラットフォーム研究会については、2018年度にて活動終了となった。

また、情報通信ワークショップを2回開催した。

<研究会>

- ① 情報経済研究会 （1回開催）
- ② 情報社会研究会 （3回開催）
- ③ 情報行動研究会 （1回開催）
- ④ モバイルコミュニケーション研究会 （5回開催）
- ⑤ 情報知財研究会 （2回開催）
- ⑥ 情報通信経済法学会研究会 （2回開催）
- ⑦ コンテンツビジネス研究会 （1回開催）
- ⑧ 災害情報と法と経済に関する研究会 （3回開催）
- ⑨ アジアのメディア研究会 （1回開催）
- ⑩ インターネット政治研究会 （2回開催）
- ⑪ 地域メディアプラットフォーム研究会 （3回開催）
- ⑫ AIネットワーク法・政策研究会 （2回開催）
- ⑬ デジタル・エコシステム研究会 （2回開催）

<情報通信ワークショップ>

- ・情報通信ワークショップ（2回開催）

*研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙5

2. 情報通信学会誌の発行

投稿論文、投稿論説、寄稿論文及び学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第36巻第1号～第4号（126号～129号）を発行した。なお、第1号・第2号（126号・127号）及び第3号・第4号（128号・129号）は合本による発行としているが、第3号・第4号の合本号については、2019年4月中旬の発行となった。電子媒体は、毎号をJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/>) において公開している。

発行部数は1100部であり、会員に送付されるほか、40団体が定期購読を行っている。

また、学会における国際化の取り組みの一環として、英文ブックシリーズについて検討を行い、英文ブックシリーズ編集委員会を中心に、2019年度中に第1巻・第2巻を出版するべく準備をした。

*情報通信学会誌各号の詳細は別紙6

3. 論文賞の授与

2017年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳選な選考が編集委員会及び理事会で行われ、春季（第38回）学会大会総会において、2017年度（第19回）情報通信学会論文賞が授与された。佳作3編。

*2017年度（第19回）情報通信学会論文賞の詳細は別紙7

Ⅲ 管理部門

2018年度は、常勤職員1名、非常勤職員1名の2名体制で活発な学会事業活動を支えた。

収支においては、学会設立35周年記念国際コミュニケーション・フォーラムの開催や英文ブックシリーズ出版に向けての翻訳料など、活発な学会活動により事業費が膨らんだが、他の事業全般において経費節減に努めた。今後も更なる事業費の見直し、会員数の増強等に引き続き取り組み、適正かつ効率的な事業運営に努める。

1. 会員の増減

2018年4月1日現在の会員数は、正会員（個人）668名、正会員（団体）1団体、学生会員0名、特別会員78名、賛助会員45団体であった。2018年度内に正会員（個人）33名、学生会員1名、特別会員8名の入会があったものの、正会員（個人）45名、特別会員1名の退会があり、正会員（個人）、学生会員および特別会員を合わせた個人会員数は4名減の742名となった。賛助会員は、1団体の退会があり、44団体、132口となった。引き続き大学院生を含む個人会員及び賛助会員の増強に向けて、役員を中心に会員入会の働きかけを行う。

*会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

2. 収支状況

2018年度正味財産増減計算書の経常収益計は23,610,755円、経常費用計は25,229,206円となった。経常収益のうち受取会費は18,398,200円、事業収益は1,553,000円であった。経常費用においては事業費が19,611,616円、管理費が5,617,590円であった。正味財産の期末残高は前年度より2,521,251円減の92,787,314円となった。昨年度と比較し、英文ブックシリーズの出版における翻訳料により事業費（諸謝金）が膨らんだ。また、学会設立35周年記念国際コミュニケーション・フォーラムについて、海外からの招へい講師数が当初予定よりも少ない人数での開催となったことから、招へいに係る旅費・謝金等の支出が大幅に減少した。

3. 評議員会及び理事会の開催

2018年度は評議員会を4回、理事会を7回、常任理事会を1回開催した。また、今後の学会運営について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組み及び今後の学会の方針が話し合われた。

*評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙8

4. 委員会等の開催

事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり委員会を開催した。また、委員の負担を軽くするため、一部委員会のメーリングリストによる検討、書面会議による議決を行った。

- ・事業企画委員会（1回開催）
- ・研究企画委員会（4回開催）
- ・編集委員会（5回開催）
- ・関西センター委員会（2回開催）
- ・総務プロジェクト（5回開催）

*委員会等の詳細は別紙9

2018 年度春季（第 38 回）情報通信学会大会

開催日程	2018 年 6 月 30 日（土）・7 月 1 日（日）
場 所	慶応義塾大学三田キャンパス南校舎・西校舎 （東京都港区三田 2-15-45）
主 催	公益財団法人情報通信学会
協 賛	情報通信月間推進協議会 * 情報通信月間参加行事

○プログラム

6 月 30 日（土）

個人研究発表（大学院生の部）、総会、懇親会

7 月 1 日（日）

個人研究発表（一般の部）、研究会報告、特別報告、ポスターセッション

<個人研究発表>

大学院生の部（アーリーバード）

1. デジタル時代のプリクラ「Meitu」を事例として中国自撮りアプリ発展に関する研究一、劉佳（台湾政治大学大学院生）、菅谷実（白鷗大学）
2. オンラインコミュニティにおける協働の諸条件の解析—Ingress ゲームコミュニティを題材として一、永井睦美（電気通信大学大学院生）、兼子正勝（電気通信大学）
3. 医療情報の利活用と保護—個人情報保護法と EU データ保護規則の比較から一、平野萌子（東京大学大学院生）
4. オンラインニュースから見る中国の日本海出港権について—ニュースフレーム分析を中心に—朴香花（名古屋大学大学院生）
5. 物流パレットレンタルシステムにおける IoT の活用、小野寺正浩（日本大学大学院生）、鈴木邦成（日本大学）
6. 電力システムにおける再生可能エネルギーの効用と ICT—電力サプライチェーンにおいて ICT の果たす役割—、谷口晋一（早稲田大学大学院生）
7. Exploring Public broadcasters' "Big-data" knowledge trajectories: comparison between NHK and BBC、Ruiz Navas Santiago（東京工業大学大学院生）、宮崎久美子（東京工業大学）

一般の部

1. NHK 放送受信契約の締結強制の合憲性と受信料支払義務—最高裁判所大法廷平成 29 年 12 月 6 日判決の検討—、磯本典章（成蹊大学）
2. 信認関係に基づく消費者プライバシーの保護、斉藤邦史（慶應義塾大学）
3. 「情報の公正で適切な取り扱い」に関する考察—「情報の生理学」の構築に向けて—、林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）
4. 情報デジタル化による社会的便益向上に関するオントロジー的考察、森田英夫（DTK）
5. ネットを通じた携帯端末向け放送サービスに対する視聴者の支払意思額の推定、三友仁志（早稲田大学）、大塚時雄（秀明大学）

6. 研究開発と生産性の相関に関する実証研究：日本企業のマイクロデータを用いた分析、井上知義（総務省・元 日本経済研究センター）、小林辰男（日本経済研究センター）、加藤肇（日本経済研究センター）、落合勝昭（日本経済研究センター）、高口鉄平（静岡大学）、実積寿也（中央大学）、岩田一政（日本経済研究センター）
7. インターネット接続の限定的喪失が経済活動へ及ぼす影響の分析—分析手法の検討および 2017 年 8 月 25 日の通信障害の実証分析—、田中大智（企）、実積寿也（中央大学）、高口鉄平（静岡大学）、クロサカタツヤ（企）
8. NTT コミュニケーションズにおけるトランスポート SDN の取り組み—トランスポートネットワークにおけるディスアグリゲーション動向と ODTN プロジェクト—、宮田直輝（NTT コミュニケーションズ）
9. 国内における地域 SNS の事例数の推移とその背景、庄司昌彦（国際大学 GLOCOM）
10. SNS における問題投稿の内容と付帯ハッシュタグの特徴、吉見憲二（佛教大学）、上田祥二（富士ゼロックス）、針尾大嗣（摂南大学）
11. 米国における高速ブロードバンドサービスの進展、山條朋子（KDDI 総合研究所）
12. ネットは社会を分断するか 2—Polarization の実証—、田中辰雄（慶應義塾大学）
13. 米国における非営利メディアと営利メディアのパートナーシップの現状—協働型社会の地域メディア構築への示唆—、脇浜紀子（京都産業大学）
14. 海外市場における日本のテレビ番組配信の成長要因と課題、大場吾郎（佛教大学）
15. アプリレビューは中長期利用ユーザの意見を反映したものなのか：モバイルゲームの実証分析、山口真一（国際大学 GLOCOM）
16. モバイル端末でのゲーム遊戯と時間意識に関する調査報告、吉田達（東京経済大学）
17. オープンデータに関わる利用者および利用方法の想定と把握について、本田正美（東京工業大学）、梶川裕矢（東京工業大学）
18. データ互換性標準におけるオープンウェブプラットフォーム導入の影響分析、深見嘉明（立教大学）
19. 漏えいに対する補償意思額からみたパーソナルデータの価値分析、高口鉄平（静岡大学）
20. バイタルデータを用いたコンタクトセンターオペレーターの状態変化の可視化、小島圭子（NTT コミュニケーションズ）、高橋宏成（NTT コミュニケーションズ）、貞田洋明（NTT コミュニケーションズ）
21. 「コンバージェンス」の場としての「アニメ聖地」～静岡県沼津市・三の浦総合案内所を事例として～ 谷村要（大手前大学）
22. 地域資源の情報発信とコンテンツツーリズム V—名古屋市における 5 年にわたる取り組み—、伊藤昭浩（名古屋学院大学）、山口翔（名古屋学院大学）
23. 場所依存型音声ガイドシステムを用いた文化理解モデルの検証、伊藤綾香（慶應義塾大学）
24. 宅配便の発送スキームにおけるドローンの導入に関する一考察、鈴木邦成（日本大学）

<ポスターセッション>

1. 小売店舗の広報活動における SNS の活用事例について、大谷光一（武庫川女子大学）
2. 行動エビデンスを基にした情報通信政策の導入要因の分析—英国 Ofcom の政策事例を題材にして— 齋藤長行（慶應義塾大学）

<研究会報告>

1. 情報行動研究会

「モバイルライフログ分析の可能性」

報告者：木村忠正（立教大学）

討論者：石井健一（筑波大学）、北村智（東京経済大学）

司会者：橋元良明（東京大学）

2. インターネット政治研究会

「フェイクニュースの拡散メカニズムに関する米韓比較」

報告1：2017年韓国大統領選挙においてフェイクニュースの生産・拡散ネットワーク・政治的影響力の分析

報告者：高選圭（韓国選挙研修院）

報告2：メディア環境から検討するアメリカのフェイクニュース拡散メカニズム

報告者：清原聖子（明治大学）

討論者：李洪千（東京都市大学）

司会者：小笠原盛浩（関西大学）

3. モバイルコミュニケーション研究会

「モバイル・メディアとセカンドオフライン」

報告1：Doubling of Time and Place

報告者：富田英典（関西大学）

報告2：セカンドオフライン空間におけるアンブラグド・プログラミングの変容

報告者：上松恵理子（武蔵野学院大学）

報告3：触覚とモバイル・メディア

報告者：金キョンファ（神田外語大学）

討論者：伊藤耕太（博報堂）

司会者 松田美佐（中央大学）

4. 情報社会研究会

「支援技術の動向とモバイル端末の活用」

報告者：中村広幸（芝浦工業大学）、小野塚航、岡本明、吉本浩二

司会者：中村広幸（芝浦工業大学）

5. 地域メディアプラットフォーム研究会

「地域ニュースの流通を担うのは？ ケーブル vs. ウェブ —それぞれの挑戦—」

報告者：奥村倫弘（THE PAGE）、高平太（ジュピターテレコム）、

植木敦子（ジュピターテレコム）

司会者：脇浜紀子（京都産業大学）

6. コンテンツビジネス研究会

「ネット配信時代のグローバル“コンテンツ”プレイヤーに求められること」

報告者：塩田周三（ポリゴン・ピクチュアズ）、高橋望（日本テレビ放送網）

司会者：内山隆（青山学院大学）

<特別報告>

「総務省の情報通信関係統計の結果概要（平成29年情報通信業基本調査と通信利用動向調査）」

報告者：品川健一（総務省）、原伸一（総務省）、加納夕貴（総務省）
司会者：高田義久（総務省）

<アーリーバード発表賞>

第6回情報通信学会アーリーバード発表賞が以下1件の発表に贈られた。

発表タイトル「オンラインコミュニティにおける協働の諸条件の解析—Ingress ゲームコミュニティを題材として—」

発表者：永井睦美（電気通信大学大学院生）、兼子正勝（電気通信大学）

2018年度秋季（第39回）情報通信学会大会

開催日程 2018年11月17日（土）
場 所 東京大学 駒場Ⅱキャンパス
（東京都目黒区駒場 4-6-1）
主 催 公益財団法人情報通信学会

○プログラム

個人研究発表（大学院生の部）、個人研究発表（一般の部）、研究会報告、特別報告

<個人研究発表>

大学院生の部（アーリーバード）

1. 高齢者に適応した番組ジャンル別クローズドキャプション提示形式の検討、稲瀬達也（芝浦工業大学大学院生）、中村広幸（芝浦工業大学）、藤田和宏
2. 「アニメ番組」における民放地方テレビ局の編成戦略分析 —毎日放送(MBS)と東京メトロポリタンテレビジョン(MXTV)の事例から—、鈴木克実（高知工科大学大学院）
3. パーソナライゼーションサービスにおける情報と機能の価値評価 —ZOZOSUIT を対象とした分析—、吉村瞭（静岡大学学部生）、櫻田京之介（静岡大学学部生）、神田健志（静岡大学学部生）、高口鉄平（静岡大学）
4. 北朝鮮のIT政策 —半導体、ソフトウェア開発、ネットワークそして人材育成—、小宮山 功一朗（慶應義塾大学大学院生）

一般の部

1. オンラインニュース報道から見る中韓の仮想通貨法関連問題について —ナラティブ分析を中心に—、朴香花（名古屋大学）
2. Effects of watchdog journalism on public opinion in the era of fake news、Cheng, John William（早稲田大学）
3. 居住地域に関する情報発信と共感を得るための課題、柴田怜（聖学院大学）
4. クチコミマーケティングの業界ガイドラインのあり方に関する基礎的研究、山口浩（駒澤大学）、井上一郎（江戸川大学）

5. 本の形態を用いた情報流通による文化的社会に関する考察、鈴木秀顕（社会デザイン協会）、布川博士（岩手県立大学）
6. 韓国の放送分野におけるメディアリテラシー教育強化の背景に関する考察、三澤かおり（マルチメディア振興センター）
7. デジタルコンテンツ映像表示方式の感性的評価法を用いた検討、田畑恒平（京都産業大学）
8. 公共放送のモバイル活用とマルチプラットフォーム戦略—地域社会における役割の変化に焦点を当てて（BBC、CBC、ABC・SBSの事例より）—、藍澤志津（マルチメディア振興センター）、米谷南海（マルチメディア振興センター）
9. 第5世代（5G）通信の電波利用基盤—米国5Gオークションと「タワー事業」を参考に—、鬼木甫（情報経済研究所）
10. 日本が攻めのIT投資へ転換し辛い原因を3つの仮説を通じて考える、杉原佳亮（グーグル合同会社）
11. 地域金融に内包される情報の非対称性に関する一考察、篠崎啓嗣（しのぎき総研）
12. 「通信の秘密」とプロバイダ責任制限法、斉藤邦史（慶應義塾大学）
13. 積極的サイバー防御と通信の秘密—インターネット時代にふさわしい「通信の秘密」再考—、田川義博（情報セキュリティ大学院大学）、林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）
14. NHK放送受信契約における受信者の法的地位—最高裁判所大法廷平成29年12月6日判決を素材として—、磯本典章（成蹊大学）
15. 規範・法オントロジーの海外事例と我が国の無線関連法規定のオントロジー的考察、森田英夫（DTK）、島崎誠彦
16. オープンデータに関わる政策推進部署とデータ保有部署の関係、本田正美（東京工業大学）、梶川裕矢（東京工業大学）
17. 米国における政権交代とオープンデータ政策とスマートシティ政策の継続性と変容—データ活用における都市間ギャップと産官学連携の視点から—、田中絵麻（マルチメディア振興センター）

<研究会報告>

1. モバイルコミュニケーション研究会

報告1：地域の課題解決に向けたモバイルメディアの参加型デザイン

報告者：岡田朋之（関西大学）

報告2：ゲーム空間と実空間の接合が生成するセカンドオフライン状況に関する試論

報告者：吉田達（東京経済大学）

討論者：伊藤耕太（博報堂）

司会：小笠原盛浩（関西大学）

2. インターネット政治研究会

「米韓で進むフェイクニュース対策：新たな規制導入か？」

報告1：韓国におけるフェイクニュースの法的規制の動き

報告者：李洪千（東京都市大学）

報告2：デジタルコンテンツを識別する技術的な困難とフェイクニュースの法とポリシーの今後の辿る道を考える

報告者：ミラー・ジェームス（連邦通信委員会）

討論者：中溝和孝（総務省）

司 会：清原聖子（明治大学）

3. 地域メディアプラットフォーム研究会

「メディア・ローカリズムの新次元－地域ニュースの公共的使命」

報告 1：メディアとプラットフォームの競争と協調の現状分析

報告者：神野新（情報通信総合研究所）

報告 2：地域メディアの視点で捉えた英国の放送メディア環境

報告者：上原伸元（東京国際大学）

報告 3：地域ニュースの競争力 - 韓国ケーブルテレビの挑戦

報告者：趙章恩（東京大学）

司会：菅谷実（白鷗大学）

<特別報告>

1. 「平成 30 年版 情報通信白書」を読み解く」

報告者：富岡秀夫（総務省）

<アーリーバード発表賞>

アーリーバード発表賞の選定が行われたが、受賞の該当者はなしとなった。

2018年度春季（第38回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	2018年6月30日（土）15：00～18：00
場 所	慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎ホール （東京都港区三田 2-15-45）
テ ー マ	「データが拓く AI・IoT 時代」
主 催	公益財団法人情報通信学会
共 催	公益財団法人 KDDI 財団
協 賛	情報通信月間推進協議会
後 援	総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、株式会社東芝、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

<プログラム>

会長挨拶 川崎賢一（情報通信学会 会長／駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）

基調講演 1 「情報社会の主体と客体」
林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学 教授）

基調講演 2 「情報の価値とビジネスモデルの進化」
國領二郎（慶應義塾大学 総合政策学部 教授）

パネル・ディスカッション

- ① データの取引・流通に関する現状と課題
- ② データの取引・流通の促進のための政策

パネリスト：今川拓郎（総務省 情報流通行政局 情報通信政策課長）
梶浦敏範（株式会社日立製作所 上席研究員）
高口鉄平（静岡大学 学術院情報学領域 准教授）
柴崎亮介（東京大学 空間情報科学研究センター 教授）
森亮二（英知法律事務所 弁護士）

モデレータ：村上陽亮（株式会社 KDDI 総合研究所）

<概 要>

データの取引・流通に関する課題について法律、経済、政策、実務の専門家が一堂に会して議論し、AI・IoT 時代に向けて取り組むべき問題を検討した。

公益財団法人情報通信学会 設立 35 周年記念
2018 年度秋季（第 39 回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 2018 年 11 月 16 日（金）10：30 ～17：00
場 所 東京大学 伊藤謝恩ホール
（東京都文京区本郷 7-3-1）
テ ー マ 新時代の情報通信政策「行動インサイト」×「AI」×「IoT」
主 催 公益財団法人情報通信学会
共 催 公益財団法人 KDDI 財団
後 援 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社東芝、NHK、公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

<プログラム>

会長挨拶 川崎賢一（情報通信学会 会長／駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）
祝 辞 大平 弘（株式会社情報通信総合研究所 代表取締役社長）
中島康之（株式会社 KDDI 総合研究所 代表取締役所長）
特別講演（総務省から 35 周年記念講演として）「新時代における情報通信政策の変革の視点」
鈴木茂樹（総務省 総務審議官）
基調講演 “Consumer Protection of e-Commerce Based on Behavioural Insights”
Dries Cuijpers
（経済協力開発機構(OECD) 科学技術イノベーション局 ポリシーアドバイザー）

パネル・ディスカッション 1

テーマ：「行動インサイトと情報通信政策の未来」
モデレータ：齋藤長行（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー）
パネリスト：Dries Cuijpers（OECD 科学技術イノベーション局）
池本忠弘（環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室長補佐／日本版ナッジ・ユニット（BEST）創設・代表）
クロサカタツヤ（株式会社企 代表取締役）
西尾チヅル（筑波大学 大学院ビジネス科学研究科 教授）

パネル・ディスカッション 2

テーマ：「AI/IoT 新時代の情報通信政策の未来」
モデレータ：大石 裕（慶應義塾大学 法学部 教授）
パネリスト：秋山美紀（慶應義塾大学 環境情報学部 教授）
宍戸常寿（東京大学 大学院法学政治学研究科 教授）
新保史生（慶應義塾大学 総合政策学部 教授）
林 秀弥（名古屋大学 大学院法学研究科 教授）

実行委員長挨拶 新保史生 （慶應義塾大学 総合政策学部 教授）

<概 要>

当学会設立 35 周年を記念して、「行動インサイト」×「AI」×「IoT」をテーマに、前半は情報通信における行動インサイトの導入について諸外国の先行事例を踏まえつつ、消費者の認知行動データを活用した新たな情報通信サービスの可能性と、公共政策へのアプローチを検討する。また、後半は IoT・AI・ロボットなどの活用を通じて、将来的な人口減少・高齢化社会において生じる課題をどのように解決するのか、情報通信政策の在り方について議論した。

2018年度関西大会

開催日程	2018年10月20日(土) 14:00~17:00
場 所	NTT 西日本研修センター (大阪市都島区東野田町 4-15-82)
テ ー マ	映像情報システムの新局面 —AI 解析と映像のビッグデータ、公共空間の関係をめぐって
主 催	公益財団法人情報通信学会
協 力	西日本電信電話株式会社

<プログラム>

- ショートプレゼンテーション 1 村上建治郎 (株式会社 Spectee 代表取締役 CEO)
ショートプレゼンテーション 2 薄井司 (株式会社エム・データ 取締役)
ショートプレゼンテーション 3 遠藤隆介 (株式会社ゼネラルリソース 代表取締役)
パネル・ディスカッション
パネリスト: 村上建治郎 (株式会社 Spectee 代表取締役 CEO)
薄井司 (株式会社エム・データ 取締役)
遠藤隆介 (株式会社ゼネラルリソース 代表取締役)
司会: 脇浜紀子 (京都産業大学現代社会学部 教授)

<概 要>

AI (人工知能) 技術が急速に発展し、これを支えるディープラーニングに代表される機械学習の映像解析への応用が加速している。デジタルサイネージでの顔認識によるターゲティング広告、SNS 投稿のリアルタイム動画解析によるニュース自動生成、監視カメラ映像分析による犯罪予測システムなど、その応用シーンは、広告・マーケティング・報道・交通・セキュリティと多岐にわたる。これらは社会にどんなインパクトを与えるのだろうか。映像情報エコシステムの最新技術動向を踏まえた上で、監視社会のディストピアではなく、安心・安全・快適・効率的な超スマート社会へ導いていくためには何が必要とされるべきなのかを議論した。

入場料: 無料 / 参加人数: 55 名

共同開催シンポジウム：西日本豪雨・北海道地震等と ICT

開催日程 2019年2月9日（土）14：30～17：30

場 所 早稲田大学 早稲田キャンパス 19号館7階711教室

テ ー マ 『想定外』災害に情報・コミュニティは機能したか
ー西日本豪雨・北海道地震などからの検証ー

主 催 早稲田大学アジア太平洋研究センター、公益財団法人情報通信学会

共 催 地区防災計画学会

<プログラム>

ショートプレゼンテーション

- ・大内良久（KDDI 株式会社）
- ・加藤孝明（東京大学生産技術研究所）
- ・西澤雅道（前福岡大学）
- ・林 秀弥（名古屋大学）

パネル・ディスカッション

【パネリスト】・大内良久（KDDI 株式会社）

- ・加藤孝明（東京大学生産技術研究所）
- ・田中絵麻（一般財団法人マルチメディア振興センター）
- ・林 秀弥（名古屋大学）
- ・西澤雅道（前福岡大学）

【モデレーター】三友仁志（早稲田大学）

<開催趣旨>

近年、防災を考えるに当たり、ICTの活用が重要な論点になっています。2018年には、大阪北部地震、西日本豪雨、北海道地震等の大きな災害が発生しましたが、本シンポジウムでは、これらの災害での教訓を踏まえ、ICTと地区防災の観点から考察を行った。

入場料：無用／参加人数：50名

2018年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

<研究会>

- ① **情報経済研究会** (主査：内山隆 幹事：湧口清隆) 1回開催
 - ・2018年7月1日(日) 15:40~16:55 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階516教室
「ネット配信時代のグローバル“コンテンツ”プレイヤーに求められること」
登壇者：塩田周三(株式会社ポリゴン・ピクチュアズ)、高橋望(日本テレビ放送網株式会社)
*コンテンツビジネス研究会との共催
- ② **情報社会研究会** (主査：中村広幸 幹事：井村保、柴田邦臣) 3回開催
 - ・2018年7月1日(日) 13:00~14:15 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階516教室
「支援技術の動向とモバイル端末の活用」
発表者：中村広幸(芝浦工業大学)、小野塚航、岡本明、吉本浩二
 - ・2018年11月17日(土) 10:00~10:30 東京大学駒場Ⅱキャンパス M253教室
「高齢者に適応した番組ジャンル別クローズドキャプション提示形式の検討」
発表者：稲瀬達也(芝浦工業大学大学院) 中村広幸(芝浦工業大学)、藤田和宏
*情報通信学会において個人発表として発表
 - ・2018年12月1日
公開ワークショップ「豊洲街区を視覚障害疑似体験した後、環境面における情報アクセシビリティ並びに支援技術について議論」
報告者：中村広幸(芝浦工業大学)、岡本明、吉本浩二
- ③ **情報行動研究会** (主査：橋元良明 幹事：松田美佐) 1回開催
 - ・2018年7月1日(日) 15:20~16:35 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階512教室
「モバイルライフログ分析の可能性」
報告者：木村忠正(立教大学)、討論者：石井健一(筑波大学)、北村智(東京経済大学)、
司会：橋元良明(東京大学)
- ④ **モバイルコミュニケーション研究会** (主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之) 5回開催
 - ・2018年4月11日(水)(非公開) 弘前大学
「研究成果の出版について」 報告者：富田英典(関西大学)
 - ・2018年5月27日(日)(非公開) 株式会社博報堂
「セカンドオフラインにおける時間について」 報告者：富田英典(関西大学)
「研究成果の出版(シュプリンガー)について」
 - ・2018年6月30日(土)(非公開) 株式会社博報堂
「The Doubling of Time and Place」 報告者：富田英典(関西大学)
「研究成果の出版(シュプリンガー)について」 草稿・執筆内容の発表(執筆者全員)
 - ・2018年7月1日(日) 15:20~16:35 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階515教室
「モバイル・メディアとセカンドオフライン」
報告1: Doubling of Time and Place 報告者：富田英典(関西大学)
報告2: セカンドオフライン空間におけるアンブラグド・プログラミングの変容
報告者：上松恵理子(武蔵野学院大学)
報告3: 触覚とモバイル・メディア 報告者：金キョンファ(神田外語大学)

討論者：伊藤耕太（博報堂）、司会者 松田美佐（中央大学）

・2018年11月17日（土）15：15～16：30 東京大学駒場Ⅱキャンパス M253 教室

報告1：地域の課題解決に向けたモバイルメディアの参加型デザイン

報告者：岡田朋之（関西大学）

報告2：ゲーム空間と実空間の接合が生成するセカンドオンライン状況に関する試論

報告者：吉田達（東京経済大学）

討論者：伊藤耕太（博報堂）、司会：小笠原盛浩（関西大学）

⑤ **情報知財研究会**（主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉）2回開催

・2018年7月3日（火）18：30～20：30

東京大学先端科学技術研究センター知的財産・社会技術研究室丸の内分室

「ウェブサイト上の著作物の盗用—ふたつの論点をめぐる実証的考察—」報告者：鈴木雄一

・2018年10月24日（水）14：00～18：00 東京大学情報学環・福武ホール

知財立国研究会共催シンポジウム「現役知財部長会議～企業知財部の本音～」

モデレーター：玉井克哉（東京大学）

スピーカー：竹本一志（サントリーホールディングス株式会社）、長澤健一（キヤノン株式会社）、

萩原恒昭（凸版印刷株式会社）、古島ひろみ（ノバルティスファーマ株式会社）、荒井

寿光（元 特許庁長官）、三村量一（元 知的財産高等裁判所 判事）

⑥ **情報通信経済法学研究会**（主査：林秀弥 幹事：福田雅樹）2回開催

・2018年10月25日（木）16：30～18：30 名古屋大学国際棟2階「CALE フォーラム」

「経済の情報化と競争政策—公正取引委員会における私の経験から」

講師：高橋省三（一般社団法人自動車公正取引協議会参与）

・2019年2月4日（月）14：30～16：30 大阪大学 東京オフィス

「欧州におけるトラストサービス産業の規制」

講師：佐々木勉（総務省情報通信政策研究所特別研究員）

⑦ **コンテンツビジネス研究会**（主査：大場吾郎 幹事：田村和人、浅利光昭）1回開催

・2018年7月1日（日）15：40～16：55 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階516教室

「ネット配信時代のグローバル“コンテンツ”プレイヤーに求められること」

登壇者：塩田周三（株式会社ポリゴン・ピクチュアズ）、高橋望（日本テレビ放送網株式会社）

*情報経済研究会との共催

⑧ **災害情報と法と経済に関する研究会**（主査：林秀弥 幹事：井上禎男、西澤雅道）3回開催

・2018年7月28日（土）13：00～16：30 九州大学大橋キャンパス多次元デザイン実験棟

「九州北部豪雨から1年を振り返って～西日本豪雨等を踏まえた地区防災計画の在り方～」

登壇者：室崎益輝（兵庫県立大学／地区防災計画学会会長）、矢守克也（京都大学）、加藤孝明

（東京大学）、林秀弥（名古屋大学）、縄田健悟（福岡大学）、前田享史（九州大学）、朝廣和夫

（九州大学）、中村美亜（九州大学）、藤智亮（九州大学）、尾方義人（九州大学）、西澤雅道（前福

岡大学法学部／内閣官房）

*地区防災計画学会、九州大学応用生理人類学研究センターとの共催

・2018年12月1日（土）13：30～16：30 日本大学危機管理学部

「西日本豪雨等の教訓と地域防災力・災害復興活動」

登壇者：室崎益輝（兵庫県立大学／地区防災計画学会会長）、矢守克也（京都大学）、磯打千雅

子（香川大学）、金思穎（日本学術振興会特別研究員）、川中敬一（日本大学）、木原淳（日本大学）、山下博之（日本大学）、西澤雅道（前福岡大学法学部／内閣官房）

・2019年3月2日（土）9：20～18：30 大阪市立大学杉本キャンパス

「都市の防災教育研究と地区防災計画における女性の視点」

登壇者：矢守克也（京都大学）、室崎益輝（兵庫県立大学）、加藤孝明（東京大学）、磯打千雅子（香川大学）、阪本真由美（兵庫県立大学）、山本美咲（元高知市地域防災推進課）、生田英輔（大阪市立大学）、西山則夫（堺市北基幹型包括支援センター）、岩城千映子（堺市危機管理室）、佐伯大輔（大阪市立大学）

*地区防災計画学会、大阪市立大学都市防災教育研究センター、一般財団法人関西情報センターとの共催

⑨ **アジアのメディア研究会**（主査：西岡洋子 幹事：金美林、井上淳） 1回開催

・2019年2月27日（水）17：30～19：00

慶應義塾大学 三田キャンパス 南館5階 ディスカッションルーム

「韓国OTT関連メディアの最新動向」 講師：趙章恩（東京大学）

⑩ **インターネット政治研究会**（主査：清原聖子 幹事：前嶋和弘、李洪千） 2回開催

・2018年7月1日（日）15：20～16：35 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階513教室

「フェイクニュースの拡散メカニズムに関する米韓比較」

報告1：2017年韓国大統領選挙においてフェイクニュースの生産・拡散ネットワーク・政治的影響力の分析 報告者：高選圭（韓国選挙研修院）

報告2：メディア環境から検討するアメリカのフェイクニュース拡散メカニズム

報告者：清原聖子（明治大学）

討論者：李洪千（東京都市大学）、司会者：小笠原盛浩（関西大学）

・2018年11月17日（土）15：15～16：30 東京大学駒場Ⅱキャンパス M251教室

「米韓で進むフェイクニュース対策：新たな規制導入か？」

報告1：韓国におけるフェイクニュースの法的規制の動き 報告者：李洪千（東京都市大学）

報告2：デジタルコンテンツを識別する技術的な困難とフェイクニュースの法とポリシーの今後の道を考える 報告者：ミラー・ジェームス（連邦通信委員会）

討論者：中溝和孝（総務省）、司会：清原聖子（明治大学）

⑪ **地域メディアプラットフォーム研究会**（主査：脇浜紀子 幹事：米谷南海） 3回開催

・2018年5月11日（金）18：00～21：00 慶應義塾大学三田キャンパス 南館5階

報告1：米国における非営利メディアと営利メディアのパートナーシップの現状

報告者：脇浜紀子（京都産業大学）

報告2：Fighting Against Local Media Poverty—A case from city of Hamilton, Ontario, Canada— 報告者：米谷南海（一般財団法人マルチメディア振興センター）

・2018年7月1日（日）14：20～15：35 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階516教室

「地域ニュースの流通を担うのは？ ケーブル vs. ウェブ —それぞれの挑戦—」

報告者：奥村倫弘（THE PAGE）、高平太（ジュピターテレコム）、

植木敦子（ジュピターテレコム）

司会：脇浜紀子（京都産業大学）

・2018年11月17日（土）15：15～16：30 東京大学駒場Ⅱキャンパス 156教室

「メディア・ローカリズムの新次元—地域ニュースの公共的使命」

報告 1: メディアとプラットフォームの競争と協調の現状分析

報告者: 神野新 (情報通信総合研究所)

報告 2: 地域メディアの視点で捉えた英国の放送メディア環境

報告者: 上原伸元 (東京国際大学)

報告 3: 地域ニュースの競争力 - 韓国ケーブルテレビの挑戦

報告者: 趙章恩 (東京大学)

司会: 菅谷実 (白鷗大学)

⑫ **AI ネットワーク法・政策研究会** (主査: 福田雅樹 幹事: 成原慧) 2 回開催

・2018 年 11 月 6 日 (火) 17:00~19:00

九州大学伊都キャンパス イースト 2 号館 4 階 第 1 教員コモンルーム

「行政における AI の利用に関する法的課題」

報告者: 松尾剛行 (弁護士、桃尾・松尾・難波法律事務所)

・2019 年 3 月 19 日 (火) 16:00~18:00

九州大学伊都キャンパス イースト 2 号館 4 階 第 1 教員コモンルーム

「独禁法 (競争法) からみた AI・ビッグデータ」

報告者: 平山賢太郎 (九州大学、弁護士 (平山法律事務所))

コメンテーター: 福田雅樹 (大阪大学)

⑬ **デジタル・エコシステム研究会** (主査: 小笠原盛浩、長谷川想) 2 回開催

・2019 年 1 月 11 日 (金) 18:00~20:00 関西大学梅田キャンパス 7 階 703 室

「デジタル・エコシステムへの最適化を目論むニュースメディアの進化形

～アルジャジーラが仕掛けるデジタルオンリーメディア『AJ+ (エージェープラス)』とは」

報告者: Jun Stinson (アル・ジャジーラ プロデューサー、映画監督)

モデレーター: 脇浜紀子 (京都産業大学)

・2019 年 3 月 26 日 (火) 17:00~19:00 関西大学梅田キャンパス 7 階 701 室

「radiko の進化とアーティストコモンズによる独自のメディアエコシステム形成の可能性」

報告者: 三浦文夫 (関西大学)、モデレーター: 長谷川想 (株式会社電通関西支社)

<情報通信ワークショップ>

第 1 回情報通信ワークショップ

「自動運転に於ける 4G/5G の必要性 ～その現状と方向性」

開催日程 2018 年 12 月 14 日 (金) 18:00~19:10

場 所 一般社団法人電波産業会 第 2・第 3 会議室

(東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階))

主 催 公益財団法人情報通信学会

協 力 一般社団法人電波産業会

<プログラム>

会長挨拶 川崎賢一 (会長/駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授)

講 演 野辺 継男 (インテル株式会社 Global Policy Group (GPG) ディレクター)

質疑応答

<概要>

自動運転車は車載コンピュータがセンサーデータから環境を認識し、クラウド上の三次元地図を参照して、走行環境を認識・予測して走る。また、与えられた三次元地図情報とセンシングされた状況に差分があれば、地図をアップデートする。更に、ECU のデータから走行データを大量に収集し、深層強化学習を掛け自動走行アルゴリズムを生成し、車載ソフトを適宜アップデートする。そうした地図データやアルゴリズムはネットワーク化されたクルマ全体で共有され、自動運転車は走れば走るほど運転が巧くなる。更に、シェアリングされるクルマはモビリティ事業者が資産化し、大量に環境情報や走行状態、路肩情報、渋滞情報等を含め、クラウドで Web API 化し、鉄道、バス、シェアリング自転車等を供給するサードパーティ等に情報を共有し MaaS を実現する。これらは、全て 4G/5G 通信を必要とする。Release 14 以降は V2X への利用も期待されている。こうした全体像と課題と解決策を話された。

第 2 回情報通信ワークショップ

「シェアリングエコノミービジネスの動向と今後の課題」

開催日程 2019 年 2 月 19 日（火） 11：00～12：00

場 所 一般社団法人電波産業会 第 3 会議室（東京都千代田区霞が関 1-4-1）

主 催 公益財団法人情報通信学会

協 力 一般社団法人電波産業会

<プログラム>

会長挨拶 川崎賢一（会長／駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）

講 演 石原 遥平 弁護士（一般社団法人シェアリングエコノミー協会）

質疑応答

<概要>

シェアリングエコノミーが拡大している要因として、ソーシャルメディアの発達と、スマートフォン等の ICT 機器の普及が挙げられる。その意味で、情報通信技術の発展とともに成長してきた市場であるといえるだろう。既知の間柄ではない人同士が連続的に繋がっていくためには信頼性確保が重要であり、提供者・利用者相互のレビューシステムが"肝"と言われているが、その点も含め、シェアリングエコノミーのビジネスモデルの概観を紹介した。

また、近年、AI・シェアリングエコノミー・宇宙ビジネスなど新しい経済圏が連続的に生まれているが、いずれも旧来の製造業とは一線を画し、サービス分野の経済圏の拡大が顕著であり、これらのサービス分野の経済圏に関するルールメイクの方法として、欧州などで進んでいる「共同規制」というソフトローによるアプローチが注目を集めることから、自身が関与しているシェアリングエコノミー認証制度についても概要を説明しながら紹介した。

情報通信学会誌（第36巻第1号～第36巻第4号）

情報通信学会誌第36巻第1号 通算第126号（第2号と合本）

特集 情報アクセシビリティの現状と今後

掲載寄稿論文

- ・「放送サービスの情報アクセシビリティ向上にむけた取り組み」 岩城正和
- ・「音声テキスト化による新たな通話コミュニケーション支援～難聴者向け「みえる電話」サービスの開発導入～」 河田隆弘、廣橋道夫
- ・「情報アクセシビリティをめぐる政策の動向」 山田肇

掲載特集論文

- ・「障害がある有権者に対する選挙情報の保障をめぐる政策の現状と課題：政見放送への手話通訳・字幕の付与、選挙公報の点訳・音訳を中心に」 大倉沙江
- ・「著作権法と障害者の情報アクセシビリティ—ソーシャルインクルージョンの視点から」 栗原佑介
- ・「地方自治体サイトのウェブアクセシビリティの現状—JIS X 8341-3に基づく専門家評価による問題の分析—」 渡辺昌洋、浅野陽子

掲載論文

- ・「営利情報の開示強制と表現の自由—米国法上の議論の分析を通じた一考察—」 海野敦史
- ・「固定電話網（PSTN）からIP網への移行に当たりの課題」 福家秀紀

情報通信学会誌第36巻第2号 通算第127号（2018年9月号）

特集 2018年度春季（第38回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「インターネットでのニュース接触と排外主義的態度の極性化—日本とアメリカの比較分析を交えた調査データからの検証—」 辻大介、北村智
- ・「「暇」ツイートのテキストマイニングによる潜在的ニーズの発見法に関する一考察」 大槻明、町田悠貴、川村雅義
- ・「信認義務としてのプライバシー保護」 斉藤邦史

掲載論説

- ・「欧州連合（EU）におけるオンライン・プラットフォームによる違法コンテンツ対策の政策動向について」 井上淳

掲載寄稿論文

- ・「ブロックチェーン・エコノミーの3層構造仮説に関する一考察」 岡田仁志

研究会報告

- ・地域メディアプラットフォーム研究会
「地域ニュースの流通を担うのは？ケーブルvs.ウェブ—それぞれの挑戦—」
- ・モバイルコミュニケーション研究会
「モバイル・メディアとセカンドオフライン」

情報通信学会誌第36巻第3号 通算第128号 (第4号と合本)

掲載論説

- ・オンライン・プラットフォームが保有するデータへのアクセスに関する欧州連合の政策動向及び今後の展開について (井上淳)

掲載寄稿論文

- ・幻の自律型AIロボット：基礎情報学的アプローチ (西垣通)

情報通信学会誌第36巻第4号 通算第129号 (2019年3月号)

特集1 設立35周年記念 第39回国際コミュニケーション・フォーラム

2018年度秋季 (第39回) 情報通信学会大会

特集2 2018年度関西大会

掲載論文

- ・「「プライバシーの合理的な期待」の法理の限界からみた監視型情報収集との関係における憲法上のプライバシー保護のあり方のプライバシー保護のあり方」 海野敦史

掲載論説

- ・欧州連合におけるコンテンツ施策の考察～「欧州作品」のクォーター制の状況及び余剰分析 (井上淳)

掲載寄稿論文

- ・ニュースの信頼をとりもどすために～トランプのアメリカで考えたこと (奥村信幸)

研究会報告

- ・デジタル・エコシステム研究会

デジタル・エコシステムへの最適化を目論むニュースメディアの進化形

～アルジャジーラが仕掛けるデジタルオンリーメディア『AJ+ (エージェープラス)』とは

2017年度（第19回）情報通信学会論文賞

佳作 3論文

第35巻2号（123号）掲載論文（2017年9月発行）

「スマートフォンゲーム市場の成熟化による製品普及過程の変化」

勝又壮太郎（大阪大学）、一小路武安（東洋大学）、リュ・ボスル（大阪大学）

受賞理由：丹念なデータセットの整備と適切な仮説および分析手法を用いて、今後のスマートフォン市場における新製品開発の在り方に関する有益な示唆を見出している。また、時宜にも叶った論文であるため、佳作に該当する論文と評価した。

第35巻3号（124号）掲載論文（2017年12月発行）

「コンテンツ産業におけるフリー型ビジネスモデルの有効性—音楽産業の実証分析—」

山口真一（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

受賞理由：現在、課金制度について問題化しているフリー型ビジネスモデルの有効性を音楽産業において、しっかりした手法で実証分析を試みており、コンテンツ産業における企業戦略を考察するにあたり、有益な示唆を与えるものであり、時宜を得た論文でもあるため、佳作に該当する論文と評価した。

第35巻3号（124号）掲載論文（2017年12月発行）

「人工知能に対する法人格の付与」

斉藤邦史（慶應義塾大学）

受賞理由：人工知能を用いたサービスが今後導入されていくであろう中で、人工知能の法人格付与については、海外で先行研究があるものの日本国内ではまだ少なく、テーマの新規性が高い。また、論文の完成度もそれなりに高いことから、佳作に該当する論文と評価した。

評議員会及び理事会の開催

<評議員会>

第21回みなし評議員会

日 時：2018年5月14日（月）

出席者：（評議員）井筒郁夫、井上泰浩、内山隆、梶浦敏範、佐藤靖夫、菅谷実、高橋守和、辻正次、松井房樹、三友仁志、山下東子

議 案：

1. 鈴木郁子理事の辞任にともなう、理事の選任

第22回定時評議員会

日 時：2018年6月14日（木）17：30～17：50

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：（評議員）井上泰浩、内山隆、佐藤靖夫、菅谷実、高橋守和、辻正次、松井房樹、山下東子
（理事）川崎賢一、武内信博（監事）池川博士

議 案：

1. 平成29年度事業報告について
2. 平成29年度決算報告について
3. 平成30年度事業計画及び平成30年度収支予算について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第23回みなし評議員会

日 時：2018年7月13日（金）

出席者：（評議員）井上泰浩、内山隆、梶浦敏範、佐藤靖夫、菅谷実、高橋守和、辻正次、松井房樹、三友仁志、山下東子

議 案：

1. 井筒郁夫評議員の辞任にともなう、評議員の選任

第24回（臨時）評議員会

日 時：2019年1月8日（火）17：00～18：21

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：（評議員）井上泰浩（スカイプ参加）、内山隆、佐藤靖夫、菅谷実、辻正次、松井房樹、三友仁志、山下東子（理事）川崎賢一、武内信博
（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 平成31年度における理事の任期満了に伴う次期理事選任の実施要項
2. 理事選挙管理委員の指名
3. 平成31年度における監事の任期満了に伴う次期監事選任の実施要項
4. 平成31年度における一部評議員の任期満了に伴う次期評議員選任の実施要項

5. 評議員候補者選考委員の指名
6. 2018年度春季（第38回）情報通信学会大会におけるアーリーバード発表賞受賞者の取り違えについて

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. その他

<理事会>

第47回みなし理事会

日 時：2018年5月7日（月）

出席者：（理事）川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩、新保史生、庄司昌彦、林秀弥、岡田朋之、神野新、河又貴洋、木村幹夫、高崎晴夫、西岡洋子、福富忠和、宮崎久美子
（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 理事の辞任による理事候補者の推薦
2. 臨時評議員会の招集

第48回理事会

日 時：2018年5月23日（水）14：00～15：25

場 所：一般社団法人電波産業会 第3会議室

出席者：（理事）川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩（スカイプ参加）、庄司昌彦、林秀弥、小川純子、神野新、木村幹夫、高崎晴夫、福富忠和、宮崎久美子
（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 平成29年度事業報告
2. 平成29年度決算報告
3. 平成30年度定時評議員会の招集
4. 平成29年度（第19回）論文賞の決定
5. 英文ブックシリーズの投稿料について
6. 終身会員の承認
7. 入会承認と退会報告
8. 平成31年度春季学会大会の開催校の決定
9. 基本財産の保有状況について
10. 平成30年度中に満期を迎える基本財産の運用について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

検討事項：

1. 70歳以上の在籍会員の学会年会費の減免について

第49回みなし理事会

日 時：2018年7月2日（月）

出席者：(理事)川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩、新保史生、庄司昌彦、林秀弥、岡田朋之、小川純子、神野新、河又貴洋、木村幹夫、高崎晴夫、西岡洋子、福富忠和、宮崎久美子(監事)池川博士、篠原聡兵衛

議案：

1. 臨時評議員会の招集

第50回理事会

日時：2018年9月4日(火)13:00~14:04

場所：一般社団法人電波産業会 第1会議室

出席者：(理事)川崎賢一、武内信博、中西浩(スカイプ参加)、新保史生(スカイプ参加)庄司昌彦、林秀弥、岡田朋之(スカイプ参加)、神野新、河又貴洋(スカイプ参加)、木村幹夫、福富忠和(監事)池川博士、篠原聡兵衛

議案：

1. 委員会委員の選任について
2. 正会員表彰受賞者について
3. 2019年度秋季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム開催校について
4. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 債券の購入について

その他

第51回理事会

日時：2018年12月4日(火)14:00~15:48

場所：一般社団法人電波産業会 第6会議室

出席者：(理事)川崎賢一、山田肇、武内信博、庄司昌彦、林秀弥、木村幹夫、小川純子、高橋晴夫、西岡洋子、宮崎久美子(監事)池川博士、篠原聡兵衛

議案：

1. 委員会委員の選任について
2. 正会員表彰受賞者について
3. 2019年度秋季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム開催校について
4. 入会承認及び退会報告

報告事項

1. 業務執行状況の報告
2. 債券の購入について
3. その他

第52回みなし理事会

日時：2018年12月26日(水)

出席者：(理事)川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩、新保史生、庄司昌彦、林秀弥、岡田朋之、小川純子、神野新、河又貴洋、木村幹夫、高崎晴夫、西岡洋子、福富忠和、宮崎久

美子 (監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 第 24 回 (臨時) 評議員会に係る議題について

第 53 回理事会

日 時：2019 年 3 月 15 日 (金) 15:00~16:34

場 所：一般社団法人電波産業会 第 4 会議室

出席者：(理事) 川崎賢一、山田肇、武内信博、林秀弥、庄司昌彦、岡田朋之、小川純子、河又貴洋
(スカイプ参加)、高崎晴夫、西岡洋子 (監事) 池川博士、篠原聡兵衛
(参与) 江寄正邦

議 案：

1. 平成 31 年度事業計画について
2. 平成 31 年度収支予算について
3. 周年事業基金積立資産の取崩と再積立について
4. 第 25 回 (臨時) 評議員会の招集について
5. 学会大会参加費の一部値下げについて
6. 「情報通信学会誌」投稿規程の改正について
7. 新規研究会の設置について
8. 職員の特別手当の支給について
9. 入会承認及び退会報告

検討事項：

1. 学会運営について

報告事項：

1. 2018 年度春季情報通信学会大会におけるアーリーバード発表賞受賞者の取り違えについて
2. 2018 年度情報通信学会論文賞募集について
3. 平成 31 年度における理事の任期満了に伴う次期理事候補者の募集について
4. 2019 年度春季学会大会における個人研究発表・ポスターセッションの募集
5. 業務執行状況の報告

その他

1. 賛助会員について

<常任理事会>

第 20 回常任理事会

日 時：2019 年 1 月 31 日 (木) 16:00~17:30

場 所：一般社団法人電波産業会 第 1 会議室 A

出席者：川崎賢一、山田肇、武内信博、林秀弥、岡田朋之、(参与) 江寄正邦

議 題：

1. 学会運営について
2. 平成 31 年度事業計画について
3. 平成 31 年度収支予算書について
4. その他

委員会等の開催

<事業企画委員会>

第1回事業企画委員会

日 時：2018年9月20日（木）15：00～16：30

場 所：一般社団法人電波産業会会議室 第1会議室 A

出席者：新保史生、福富忠和、村上陽亮、井上淳、加藤尚徳、齋藤長行、斉藤邦史、
成原慧（スカイプ参加）、橋本誠志、米谷南海

議 案：

1. 設立 35 周年記念 2018 年度秋季（第 39 回）国際コミュニケーション・フォーラムの準備について
2. 2018 年度情報通信ワークショップの開催
3. 総務省との連携について

<研究企画委員会>

第1回研究企画委員会

日 時：2018年4月4日（水）14：00～16：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、高口鉄平、田中絵麻、高崎晴夫、宮崎久美子

議 題：

1. 2018年度春季（第38回）学会大会個人研究発表について
2. 研究会活動報告
3. 学会大会参加費の徴収について

第2回研究企画委員会

日 時：2018年9月12日（水）14：00～16：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、高口鉄平、田中絵麻、生貝直人、高崎晴夫、宮崎久美子

議 案：

1. 2018 年度秋季（第 39 回）学会大会個人研究発表について
2. 2018 年度秋季（第 39 回）学会大会における研究会報告について
3. 2018 年度春季（第 38 回）学会大会アーリーバード発表賞の事後の手続きにおける学会事務局の手違いについて

第3回研究企画委員会

日 時：2019年1月29日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 2019 年度春季学会大会個人研究発表・ポスターセッションの募集について

第4回研究企画委員会

日 時：2019年2月26日（火）10:30～11:30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、田中絵麻、生貝直人、高崎晴夫、宮崎久美子

議 案：

1. 研究会活動報告
2. 2019年度事業計画書（案）について
3. 学会大会参加費について

報告事項：

1. 「2018年度春季（第38回）学会大会アーリーバード発表賞の事後の手続きにおける学会事務局の手違いについて」の状況報告について

<編集委員会>

第1回編集委員会

日 時：2018年5月22日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 平成29年度論文賞候補論文推薦について

第2回編集委員会

日 時：2018年6月7日（木）17:00～18:30

場 所：一般社団法人電波産業会 第1会議室A

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、木村幹夫、高田義久、田尻信行

議 案：

1. 9月号（127号）投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 9月号（127号）学会誌担当委員の確認について

検討事項：

1. 学会誌一号に対し同一筆者の投稿数制限に伴う投稿規定等の改定について
2. 査読が厳しすぎるのではと一部の意見について

報告事項：

1. 学会誌126号の編集について

第3回編集委員会

日 時：2018年9月7日（金）13:00～15:00

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、北村智、宍倉学（スカイプ参加）、篠原聡兵衛、高嶋祐一（スカイプ参加）、高田義久、湧口清隆

議 案：

1. 12月号（128号）投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 12月号（127号）学会誌担当委員の確認について
3. 投稿規程の改定について

報告事項：

1. 投稿論文 30-9～18 の査読結果について
2. 9月号（126号）の編集状況

第4回編集委員会

日 時：2018年12月12日（水）13：00～15：00

場 所：大阪大学東京オフィス 多目的室2

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、木村幹夫、宍倉学（スカイプ参加）、篠原聡兵衛、高田義久、田尻信行

議 案：

1. 3月号（129号）投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 3月号（129号）学会誌担当委員の確認について

報告事項

1. 投稿論文 30-19～23 の査読結果について
2. 12月号（128号）の編集状況
3. 投稿規程改定の理事会承認について
4. 「アーリーバード発表賞における誤りについて」の記事の掲載

検討事項

1. 他団体との協力関係を視野に入れた学会誌への新たなジャンル（査読を行わない調査レポートなど）の掲載について

第5回編集委員会

日 時：2019年3月15日（金）13：00～14：30

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、青木淳一、河又貴洋（スカイプ参加）、宍倉学、篠原聡兵衛、高嶋祐一（スカイプ）、高田義久、田尻信行

議 案：

1. 6月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 6月号学会誌担当委員の確認について
3. 平成30年度情報通信学会論文賞募集について
4. 投稿規程の改定について

検討事項：

1. 投稿論文 30-20 の取扱いについて
2. 学会誌の電子化について

報告事項：

1. 3月号の進捗状況について

<関西センター委員会>

第1回関西センター委員会

日 時：2018年9月11日（火）16：00～18：00

場 所：関西大学梅田キャンパス

出席者：岡田朋之、小笠原盛浩、上田昌史、小野寺昭彦、梶原祐理子、新名篤史、脇浜紀子

議案：

1. 関西センター委員の交代について
2. 2018年度関西大会について
3. 2018年度のデジタル・エコシステム研究会の開催について
4. 次回委員会の開催について

その他

第2回関西センター委員会

日時：2019年3月26日（火）15：00～16：30

場所：関西大学梅田キャンパス 7階701教室

出席者：岡田朋之、長谷川想、上田昌史、小野寺昭彦、梶原祐里子、脇浜紀子

議案：

1. 2019年度関西大会について
2. 2019年度のデジタル・エコシステム研究会の活動について

<総務プロジェクト>

第1回総務プロジェクト会合

日時：2018年6月15日（金）16：00～17：30

場所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、事務局

議題：

1. 平成30年度中に満期を迎える基本財産の運用について

検討事項：

1. 会員種別について
2. 役職に紐づく役員の交代人事手続きについて

報告事項：

1. 平成29年度事業報告及び決算報告
2. 平成30年度事業計画及び収支予算
3. その他

第2回総務プロジェクト

日時：2018年8月23日（木）16：00～17：00

場所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、事務局

議題：

1. 今後の学会運営について

報告事項：

1. 2018年度春季学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの決算について

第3回総務プロジェクト会合

日 時：2018年9月12日（水）17：00～18：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、事務局

議 題：

1. 今後の学会運営について
2. 他団体との連携について

第4回総務プロジェクト

日 時：2018年11月26日（月）16：00～17：00

出席者：江寄正邦、武内信博、事務局

場 所：情報通信学会事務局

議 題：

1. 今後の学会運営について
2. 他団体との連携について
3. 次期理事選挙について
4. 賛助会員への対応について

その他：

1. 2018年度春季学会大会におけるアーリーバード発表賞の受賞者取り違えについて
2. 設備費について

第5回総務プロジェクト会合

日 時：2019年1月9日（水）14：00～15：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、事務局

議 案：

1. 2018年度見込決算書について
2. 今後の学会運営について
3. 次期役員選挙について
4. 賛助会員への対応について

報告事項：

1. 総務省情報通信政策研究所との連携について

事業報告の附属明細書

1. 会員の増減

【2018年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計		
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)	
2018年4月1日 現在報告会員数	668	1	3	0	78	45	133	746	46 (136口)	
年度内 増減	入会	33	0	0	1	8	0	0	42	0
	退会	△45	0	0	0	△1	△1	△1	△46	△1
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減計	△12	0	0	1	7	△1	△1	△4	△1
2019年3月31日現 在報告会員数	656	1	3	1	85	44	132	742	45 (135口)	

2. 評議員・理事・監事

評議員・理事・監事は、2019年3月31日現在、次の通りである。

評 議 員

(任期：2015年6月23日から2019年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学国際学部 教授
同	梶浦 敏範	株式会社日立製作所 上席研究員
同	紀伊 肇	一般財団法人マルチメディア振興センター専務理事 *任期は2018年7月13日から2022年定時評議員会の日まで
同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授・白鷗大学経済学部 客員教授 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授・神戸国際大学経済学部 教授
同	松井 房樹	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 教授 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで

(敬称略)

(注)

- ・評議員 井筒郁夫氏は2018年6月22日に、同 内山隆氏は2019年2月22日に、同 三友仁志氏は同月25日に、それぞれ辞任した。
- ・評議員 高橋守和氏は、2019年3月6日に退任した。

理 事

(任期 2017年6月14日から2019年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会長	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
副会長	山田 肇	東洋大学名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長
同	武内 信博	株式会社NTTコミュニケーションズ 常勤監査役
同	中西 浩	マレーシア工科大学 教授
常務理事	新保 史生	慶應義塾大学 総合政策学部政策・メディア研究科 教授
同	庄司 昌彦	国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 准教授
同	林 秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科 教授
同	岡田 朋之	関西大学 総合情報学部 教授
理 事	小川 純子	NHK放送文化研究所 所長 *任期は2018年6月14日から2019年定時評議員会の日まで
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
同	河又 貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	高崎 晴夫	株式会社KDDI 総合研究所 フューチャーデザイン1部門 主席研究員
同	西岡 洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	福富 忠和	専修大学 ネットワーク情報学部 教授
同	宮崎 久美子	東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 教授

(敬称略)

(注)

- ・理事 鈴木郁子氏は、2018年4月24日辞任した。

監 事

(任期 2015年6月23日から2019年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	池川 博士	株式会社ドコモCS 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	KDDI株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

(敬称略)